

人・地球・水環境

月刊下水道

JOURNAL OF SEWERAGE, MONTHLY

September, 2025

9

VOL.48 No.11

高強度環境調和型樹脂技術協会： 第8回定時総会を開催 公共工事以外へも適用拡大図る

日本高強度環境調和型樹脂技術協会は7月2日、東京・千代田区の主婦会館プラザエフで第8回定時総会を開催した。同協会は2024年度、ポリウレア樹脂コーティングと施工システムの概要などを学ぶエキスパート研修会をオンラインで実施したほか、手塗り・透明ポリウレアの取扱研修会、新技術発表会・説明会を開催するなどした。2025年度は、ポリウレアを用いた下水道マンホール更生工法の開発を進めるほか、デモ説明会、現場見学会などを行う予定。



梅林会長

梅林勲会長は総会冒頭「私たちの開発した強靱かつ多機能な塗膜を基材に塗布して一体化させる過程において、下地処理は非常に重用。コンクリートに的を絞れば、アルカリ性から中性化に進む過程で下地処理としてコンクリートの表層部分の腐食して脆弱化した部分を取り除き、その上に塗膜を構築する工程となっている。今、予防保全的なメンテナンスの考え方が加速するなか、会員から下水道マンホールの更生工法はできないかという提案をいただき、開発に着手した。(これが開発されれば) 公共工事だけでなく、民間の工場関係のマスにも使われるようになる」などと述べた。

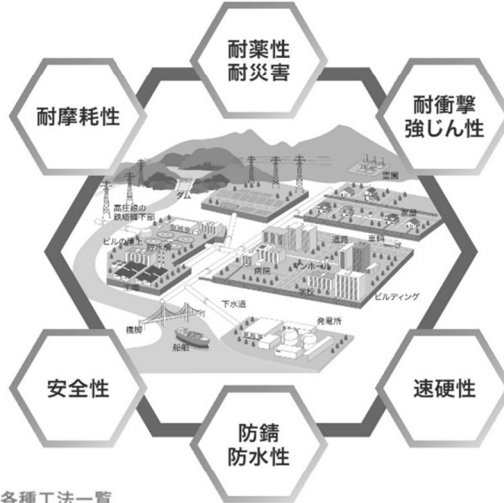
Innovative Technology

ポリウレア樹脂コーティング

POLYUREA COATING

国土強靱化、長寿命化に貢献する “強じん性樹脂”の開発・研究

当協会はアーマライニング製“高性能・高強度樹脂”素材を取り扱っており、一般建築物や仮設物、上下水道管路施設、貯水槽、道路、トンネル、橋梁等、幅広い分野に対応しております。
ポリウレア樹脂においては、ポリイソシアネート化合物と活性化水素を持つアミン化合物の2成分をコンピューター制御された専用機材(リアクター)にて、ホース端末の専用スプレーガンまで加熱圧送。スプレーガン内部で2液を衝突混合させ、化学反応でポリウレア樹脂を生成し、被膜層を瞬間形成するスプレーコーティングの技術を確立しています。



水路

各種工法一覧

	工法名称	主な材料	期待寿命	使用場所	特徴
改築	リ・フォース工法I	ハイブリッドorポリウレア	25-50年	折板屋根・建物金属部	防護 + 高寿命 + 防水・防錆
	リ・フォース工法II	ポリウレア	50年	弱劣化スレート屋根 CON構造物・その他	強じん化 + 高寿命 + 防水
	リ・フォース工法III	強化繊維入り樹脂系 防水・防錆・耐熱材料 ポリウレア	50年	強劣化スレート屋根 CON構造物・鉄骨・鋼管	強じん化 + 高寿命 + 防食・防水・防錆
修繕	ガイナーマ工法	ポリウレア	50年	折板屋根・建物金属部等	遮熱・断熱 + 高寿命 + 防水・防錆
	復活パワーコート工法	強化繊維入り樹脂系 防食・防錆・耐熱材料 脱トッポコートor透明シリコン塗料・耐熱塗料	25年	弱劣化スレート屋根 CON構造物・金属部	防護 + 重防食・防錆 防水 or 半強じん化 or 遮熱・断熱
	アーマーリバー工法	ハイブリッドorポリウレア	25-50年	弱・強劣化スレート屋根、CON構造物	防水 + 補修or高耐久補修



JHECRTA

日本高強度環境調和型樹脂技術協会

〒800-0206 福岡県北九州市小倉南区葛原東3-1-1

TEL 093-474-0035 FAX 093-474-0031

URL http://jhe-polyurea.com E-MAIL info@jhe-polyurea.com